

わたしが与えた使命を必ず果たす。  
12 あなたたちは喜び祝いながら出で立ち  
平和のうちに導かれて行く。  
山と丘はあなたたちを迎え  
歓声をあげて喜び歌い  
野の木々も、手をたたく。

### 【主よ、いつまでですか】

聖書の中には繰り返し、神への切なる訴えが記録されています。とくに「主よ、いつまでですか（この悪い状況は）」という問いかけが多く見られます。「早くどうかしてください」という心の叫びでしょう。でも、神の側から見ても、同じように「いつまでなのか、あなたは」と問うている可能性があります。「いつまで待てば、あなたの方はわたしの働きについての準備が整うのか」といった感じでしょうか。祈りとは神との対話なので、神と人が互いに「いつまでですか」と問いかけあっている情景が浮かんできます。

もちろん祈りの中で自分の願いを訴えることには何の問題もありません。素直に心を注ぎ出してよいのです。でも、それに神がどのように応えるかは、神が決めることです。時には、まったく予想しなかったような「応答」がなされます。聖書にはそのようなケースがたくさん出てきます。

現在では以前より相対的な捉え方がなされるのが一般的ですが、宗教学においては「呪術と宗教の違い」が長く論じられてきました。簡単に言うと「呪術」とは神を人間が強制することで、「宗教」とは人間が神に強制されることだということです。「宗教」においては、人の方が打ち砕かれて、新たな認識に導かれることが想定されているわけです。祈るとき、人も待っていますが、神もまた待っているのかもしれませんが。(Y. T.)

### 【聖歌隊と一緒に歌いましょう】

大学礼拝では、学生・教職員の有志による聖歌隊が合唱をします。どなたでも参加できます。毎週礼拝の前後にオルガン前で練習をしています。

### 【次回の大学礼拝】2019年5月21日（火）10時40分

今回の奨励は、小林昭博先生（宗教主任）です。ご期待下さい。

### 【前回の大学礼拝】2019年5月7日（火）10時40分

学生 486名 教職員ほか 15名 合計 501名

## 【大学礼拝週報】 2019年度 第4号（前学期第4号）

2019年5月14日（火）午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

### 《大学礼拝》

司 式 高橋優子（キリスト教学教員）  
奏 楽 佐藤理恵（野幌教会会員）  
讃美指導 相原晴伴（循環農学類教員）

前 奏 「主をほめまつれ、おおわが魂よ」（アーベル作曲）  
讃美歌 讃美歌 222番（あめなるつかいのうたは）  
聖 書 イザヤ書 55章 8-12節  
祈 り  
さんび 酪農学園大学聖歌隊  
奨 励 「あなたは、どこにいるのか～神の問い、神への問い～」  
横川容子（社会連携センター国際交流課課長）  
報 告  
讃美歌 讃美歌 21 575番（球根の中には）  
後 奏 「われに來たれと神の御子は語りたもう」（カムマイヤー）

### 【本日の聖書】イザヤ書 55章 8-12節

<sup>8</sup>わたしの思いは、あなたたちの思いと異なり

わたしの道はあなたたちの道と異なると

主は言われる。

<sup>9</sup>天が地を高く超えているように

わたしの道はあなたたちの道を

わたしの思いは

あなたたちの思いを、高く超えている。

<sup>10</sup>雨も雪も、ひとたび天から降れば

空しく天に戻ることはない。

それは大地を潤し、芽を出させ、生い茂らせ

種蒔く人には種を与え

食べる人には糧を与える。

<sup>11</sup>そのように、わたしの口から出るわたしの言葉も

むなしくは、わたしのもとに戻らない。

それはわたしの望むことを成し遂げ